

## 小学校・道徳の内容項目の解説

# 郷土愛

### ●小学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること		[一般的な呼称例]
低学年	(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。	郷土愛
中学年	(5) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。	郷土愛
高学年	(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。	郷土愛・愛国心

### ●解説

関連の説明	郷土とのかかわりに関するものであり、郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもった児童を育てようとする内容項目である。主に、第3・4学年の4の(5)、4の(6)及び第5・6学年の4の(7)、4の(8)と深くかかわっている。
全体的な理解	自分の育った郷土は、自己の形成に大きな役割を果たすとともに、一生にわたって大きな精神的な支えとなるものである。郷土との積極的で主体的なかかわりを通して、郷土を愛する心を育て、郷土をよりよくしていこうとする態度を育成する必要がある。
低学年	この段階においては、遊びや生活科などの学習を通して、家庭や学校を取り巻く郷土に目が向けられるようになる。このことを考慮して、郷土の自然や文化に触れ、人々との触れ合いを深めることで、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活できるようにすることが大切である。
中学年	この段階においては、特に地域での生活が活発になるのに伴い、地域の行事や活動に興味をもち、積極的にかかわろうとする態度を育てることが求められる。地域の人々や生活、文化、伝統に親しみ、それを大切にすることを通して、郷土を愛する心を育てる必要がある。
高学年	この段階においては、郷土を愛する心が日本全体に開かれたものへと発展し、国を愛する心が児童の内面から自覚されることが大切である。そのためには、郷土や我が国の発展に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知り、自分もまたそれを継承し発展させていくべき責務があることを自覚し、そのために努めようとする心構えを育てる必要がある。

文部科学省「小学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年8月）より

### ■参考：中学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること		[一般的な呼称例]
(8) 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。	郷土愛	
(9) 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。	愛国心	

## 小学校・道徳の内容項目の解説

# 愛国心

### ●小学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること		〔一般的な呼称例〕
(低学年)	(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。	(郷土愛)
中学年	(6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。	愛国心・国際理解
高学年	(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。	郷土愛・愛国心

### ●解説

関連の説明	国とのかかわりに関するものであり、我が国の伝統と文化を大切にし、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化にも関心をもった児童を育てようとする内容項目である。
全体的な理解	国を愛する心は、そこではぐくまれた我が国の伝統と文化に関心をもち、それらと現在の自分とのかかわりを理解する中から芽生えてくるといえよう。それは、さらに、我が国に課せられている役割と責任を自覚し、世界の人々から信頼と尊敬を得られるように努めようとするものでなければならない。
(低学年)	この段階においては、遊びや生活科などの学習を通して、家庭や学校を取り巻く郷土に目が向けられるようになる。このことを考慮して、郷土の自然や文化に触れ、人々との触れ合いを深めることで、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活できるようにすることが大切である。
中学年	この段階においては、特に我が国の伝統と文化とのかかわりから視野を広げて、我が国の伝統と文化に関心をもち、国を大切に愛する心を育てるとともに、外国の人々や文化にも関心をもつことができるようにしていくことが大切である。
高学年	この段階においては、郷土を愛する心が日本全体に開かれたものへと発展し、国を愛する心が児童の内面から自覚されることが大切である。そのためには、郷土や我が国の発展に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知り、自分もまたそれを継承し発展させていくべき責務があることを自覚し、そのために努めようとする心構えを育てる必要がある。

文部科学省「小学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年8月）より

### ■参考：中学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること		〔一般的な呼称例〕
(8)	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。	(郷土愛)
(9)	日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。	愛国心

## 小学校・道徳の内容項目の解説

# 国際理解

### ●小学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること		〔一般的な呼称例〕
(低学年)	(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。	(郷土愛)
中学年	(6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。	愛国心・国際理解
高学年	(8) 外国の人々や文化を大切にする心もち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。	国際理解・親善

### ●解説

関連の説明	国際理解と親善の心をもった児童を育てようとする内容項目である。
全体的な理解	国際化への対応は、今後一層重要になってくる。まず、外国の人々や自分の回りの文化とは異なる文化に対する理解と尊敬の念が重視されなければならない。各国には、その国独自の伝統と文化があり、各国民はそれに対して誇りを持ち、大切にしている。そのことを、我が国の伝統と文化に対する尊敬の念と併せて理解できるようにしていく必要がある。また、単に国際理解にとどまることなく、日本人としての自覚をもって、積極的に外国の人と接したり、交流の場に参加したりするなどして、国際親善に努めることが大切である。そして、それらを更に人類愛にまで深めていくことが求められる。
(低学年)	この段階においては、遊びや生活科などの学習を通して、家庭や学校を取り巻く郷土に目が向けられるようになる。このことを考慮して、郷土の自然や文化に触れ、人々との触れ合いを深めることで、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活できるようにすることが大切である。
中学年	この段階においては、特に我が国の伝統と文化とのかかわりから視野を広げて、我が国の伝統と文化に関心を持ち、国を大切に愛する心を育てるとともに、外国の人々や文化にも関心をもつことができるようにしていくことが大切である。
高学年	この段階においては、特に社会的認識能力の発達や社会科等での学習との関連を考え、国際理解と親善の心を育てることが重要である。その際、外国の人々が、我が国と同じようにそれぞれの国の伝統と文化に愛着や誇りをもって生きていることを理解し、これを尊重するとともに、同時に、我が国の伝統と文化についての理解を深め、尊重する態度をもって考えを深めたり、交流したりしようとすることが大切である。

文部科学省「小学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年8月）より

### ■参考：中学校学習指導要領（平成20年3月）

4 主として集団や社会とのかかわりに関すること		〔一般的な呼称例〕
(10)	世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。	国際理解・人類愛